

あつという間に修了式 栗山キッズクラブ

青少年体験学校「栗山キッズクラブ」が3月13日に行われました。参加した19人は雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスで宝石せっけんづくりを体験。たまご型やアロマ・ハーブの香り付きのせっけんなどを作りました。活動後には修了式が行われ、吉田政和教育長が修了証書を授与。参加者からは「来年度のキッズクラブも参加したい」などの声が上がりました。



マスク寄贈と除雪作業を実施 丸庭佐藤建設が奉仕活動

株式会社 丸庭佐藤建設が3月8日、栗山小学校の児童にマスク1,000枚を寄贈しました。同社は雨煙別川の護岸工事を担当しており、社会貢献活動の一環として実施。また、3月12日には奉仕活動として、同校の除雪作業に取り組みました。同社の原田充さんは「子どもたちには新型コロナウイルスに気をつけて、学校生活を楽しくしてほしい」と話していました。



消防ポンプ自動車を新たに配置 栗山消防団

栗山消防団の第1分団第2部に消防ポンプ自動車6台が新たに配置され、2月28日、栗山天満宮で納車式が行われました。納車されたポンプ車は、赤色警光灯・赤色点滅灯・作業灯が全てLEDとなっており、後部の荷台には火災時に備え、小型動力消防ポンプを積載でき、さまざまな災害に対応できます。納車式には佐々木町長をはじめ関係者23人が参加し、交通安全を祈りました。



栗山町で介護福祉士になる 地域活動研究報告会

北海道介護福祉学校の地域活動研究報告会が、2月22日に行われました。栗山をフィールドとし、地域との関わりを通して学びを深めるもので、同校2年生は3グループに分かれ1年間活動。研究を通して学んだ地域課題や解決に向けた提言などを行いました。ヘルスケアグループで活動した小野真綾さんは「栗山には介護学校があることを活かしていきたい」と話していました。



NHK公開イベント 「みんなでケアトレ」開催

自宅で家族を介護する「在宅ケア」を学ぶイベント「みんなでケアトレ」が3月20日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。お笑いコンビ「レインボー」が、介護の難しいポイントをコント形式で実演。介護学生も協力し、正しいケアの方法を紹介しました。講師で理学療法士の岡田しげひこさんは「運動能力に関わらず、介護のコツを役立ててほしい」と話していました。



水泳でジュニアオリンピックに出場 本田一智華さん

栗山小学校6年の本田一智華さんが、3月26日から東京で行われる全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会への出場が決まり、3月17日に役場へ報告に訪れました。本田さんは、2月の北海道予選会で全国大会の参加標準記録を上回り、出場切符を手に入れました。本田さんは「初めての全国の舞台ですが、練習の成果を出せるように頑張ります」と話していました。



研修の成果を披露 少年ジェット「希望の翼」

少年ジェット「希望の翼」の研修報告会が3月5日、総合福祉センター「しゃるる」で行われました。コロナ禍により海外派遣は中止されましたが、1月に行われたオンライン研修での成果を中高生11人が英語でスピーチ。周田俊誠さん（立命館慶祥中3年）は「チャレンジする大切さを学んだので、海外に行けたら現地の方とたくさん会話したいです」と話していました。



新しい力でまちの元気に 地域おこし協力隊委嘱状交付式

令和3年度栗山町地域おこし協力隊の委嘱状交付式が、3月1日に役場で行われました。情報発信プランナーに西村さやか隊員（右）、コミュニティ放送局スタッフに竹崎真央隊員（左）が着任。西村隊員は「栗山という自然豊かなところで、人を元気にする活動をしたいです」と話し、竹崎隊員は「ラジオを通じて、地域に根差したまちづくりに貢献したいです」とあいさつしました。

